

個人情報保護方針

私どもは、個人情報の重要性を認識し個人情報を保護するために、次のとおり方針を定め関係者への徹底を図っております。

■利用目的の明示

個人情報を提供していただくにあたり利用目的を明確にお知らせします。お知らせした以外の目的に個人情報を利用することはありません。

メルマガ配信の申し込みにおいて収集したメールアドレスは、当該メルマガジンの配信のために限って使用します。

収集した意見・要望・質問・苦情等については、今後の運営・施策立案の参考とさせていただきたく存じます。このため、関係研究部署に、特定の個人を識別することができないようにして転送することがあります。ご本人から氏名や内容等を公表することをあらかじめ希望されていた場合やご本人の同意を得た場合には公表することもあります。

■個人情報の管理

収集した個人情報は、適切・慎重に管理し、不正アクセス、紛失、破壊、改ざん、漏えい等の予防ならびに是正の措置を講ずるとともに、万一の発生時には速やかに是正措置を実施します。個人情報には、当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、それにより当該個人を識別できるものを含みます

従事者に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に保護するための全従事者とのデータの非公開契約の締結(末尾の誓約書)をいたします。

個人情報の加工・組み合わせによって高度に重要な個人情報となったデータについては、暗号化しても漏えいの危険がまだまだ大きいことから、現在のところはインターネットでの送受信は行ないません。

国家資格を有する者の業務に関して知り得た秘密を、法律の定めはもちろんのことですが、いかなるものに対しても漏らすことは禁じられています。この守秘義務は、制度を作るだけで情報漏えい防止の保障水準を定めていないもの(例:プライバシーマーク)などの程度ではありません。高度に重要な情報を扱う者は、それを判別するため資格証等を表示携帯しております。

私どもが個人情報のデータ処理を外部の企業等に委託する(法令で禁止されたもの等は委託しない。)場合は、漏えい、再提供のないよう、適切に管理・監督をします。

そして、これらの措置を維持し継続的に改善します。

■第三者への開示

個人情報は、ご本人の同意を得た場合を除き第三者に提供することはいたしません。法律の定めにより司法警察員・警察機関・検察の捜査であっても提供することはありません。

■個人情報の訂正・削除・開示

ご本人からの、個人情報について訂正・削除・開示の請求があった場合は、迅速に対応いたします。この場合、パスポートや運転免許証などで、ご本人であることの確認をさせていただくことがあります。

■法令の遵守

個人情報の保護に関する日本の法令および規範を遵守します。

■責任の範囲

私どものウェブサイトからリンクされた他者のウェブサイトにおける個人情報の取り扱いに関しては、私どもが責任を負うものではありません。

■クッキー(Cookie)の利用について

私どものウェブサイトでは、クッキー(サーバ側で利用者を識別するために、サーバから利用者のブラウザに送信され、利用者のコンピュータに蓄積される情報)は利用していません。

■アクセスログについて

私どものウェブサイトでは、掲示板形式のものを除き、ユーザーのアクセス情報(アクセス回数、ドメイン、IP アドレス、OS の種類、ブラウザの種類など)をアクセスログとしての蓄積は致しません。ダウンロードや質問・苦情においても、メールアドレスなどを入力されない限り、回答先も含めて一切の個人情報は送受信されません。ご利用に当たっての、お名前、ご住所、電話番号及びメールアドレスについては、まったく必要ありません。あくまで記入したい方の任意です。

※ 私どもは個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守するとともに、この方針に基づく個人情報保護体制と内容の充実・維持に努めます。この保護方針は、適宜に見直し・改善を行いますので、最新の内容を確認されることをおすすめいたします。

2005年(平成17年) 3月9日

株式会社 総務部

代表取締役 村岡利幸

機密および個人情報の守秘に関する誓約書

私、_____ は、
業務を遂行するにあたり、次の機密および個人情報守秘に関する事項を遵守します。

- 1、業務を遂行する過程で知り得る一切の機密情報を、当社および当社顧客の機密情報と認識し、私に対する指揮命令者を除く当社役員、社員などの従事者およびその他の第三者に漏洩若しくは開示を致しません。また、自己の利益のための者若しくは当社と競合する他の事業者その他の第三者にも機密情報を漏洩または開示をしません。
- 2、この場合の機密情報とは、機密資料としての区分、機密資料名の具体的列記、機密資料の守秘期間などの機密若しくは秘密である旨を明示されており又は社会通念として秘密内容であることが明白なものの情報であることを確認します。
- 3、取り扱う個人情報については、私に対する指揮命令者を除く当社役員、社員などの従事者およびその他の第三者に漏洩若しくは開示を致しません。また、自己の利益のための者若しくはその他の第三者に個人情報を漏洩または開示をいたしません。さらに個人情報の取扱いは業務の遂行上正当な理由のある場合に限定して行います。
- 4、個人情報とは、当該本人に関するすべての情報(私生活に関するものには限られない)であつて、かつ具体的に特定の当該本人の氏名、連絡先もしくは住所等の明らかとなる事項(識別情報)の事を指し、いかなる漏れる手段を問わずプライバシー侵害の不法行為(民法709条)ともなり、漏れない様に取り扱わなくてはならない事項であることを確認します。
- 5、特に、個人情報等について、次の者以外からの情報提供に必ずとことはプライバシー侵害となることを確認いたしました。
 - (1)個人情報取扱を必要最小限に限定された職務権限者の業務進行上において、公式もしくは正当な理由をもつ従事者である事が明白もしくは証明された者。
 - (2)当該本人と生計を同一にする親族で、その関係にあることを証明した者。
 - (3)当該本人が未成年である場合において、親族でその関係にあることを証明した者。
- 6、施設、機器並びにネットワーク環境等を利用するにあたり、機密および個人情報の秘密を守るために、次のことを実行します。
 - (1)施設、設備、機器、ネットワーク環境並びにその他備品等を、業務を遂行する目的以外に使用しないこと又は許可なく事業所外に持ち出さないこと。
 - (2)職務権限者の許可なく機密又は個人情報を紙、FD、CDなどの記録媒体に記録し、又は電子媒体(メールアカウントへのメール発信や転送等を含む)等を用いて外部へ持ち出さないこと。
 - (3)事業所の設備外の機器を使用する場合には、ウイルスソフトのインストールを行い、かつウイルスチェックを済ませた上で使用すること。
 - (4)ウイルスチェックをしていないFD、CD等の記録媒体を使用しないこと。
 - (5)業務を遂行する上で必要のないホストへのログインを試みるとか、機器内情報(機器に関する情報およびこれが保持する情報)にアクセスするなどのことをしないこと。
 - (6)職務権限者の指定もしくは許可していないソフトを起動又はインストールしないこと。
 - (7)故意または、わずかの注意をすれば防げたにもかかわらずその注意をしなかったために発生が予見できる、機密および個人情報の漏洩を防止すること。
- 7、法令等を遵守し、機密および個人情報の秘密を守る事を誓約します。また、自他共に法令等

についてその違反事実を知ったとき、並びに自他共にこれと同一の誓約書内容に違反した事実を知ったときには、直ちに職務権限者に直接報告します。

8、上記事項のいずれかに反したことにより、正当な手続きを経た上で懲戒処分を受けたとしても、私は一切異議を申し立てず、その処分に従います。

9、万一、上記事項のいずれかに反したことにより、損害を与えた場合には、その責めに応じかつ賠償を請求されたとしても異議の申立をいたしません。

以 上

年 月 日

住所(居所)

氏名(自署)

印

株式会社総務部 御中